

#### (4) 急性心筋梗塞患者における退院時アスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方率

**分子：**分母のうち、退院時処方アスピリンあるいは硫酸クロピドグレルが処方された患者数

**分母：**「急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞（DPC コード：050030）」の退院患者数。ただし、以下の場合を除外する。

- ・退院時転帰が死亡であった患者
- ・退院先が「他院へ転院（入院）した場合」あるいは「その他(介護老人保健施設、介護老人福祉施設等への転所)」に該当する患者
- ・Killip 分類が「Class4」であった患者
- ・入院時に既にアスピリンあるいは硫酸クロピドグレルを服用中の患者
- ・段階的に、脳出血の発症率なども視野に入れること

**収集期間：**平成 23 年 7 月～平成 23 年 12 月

急性心筋梗塞は心臓に血液を送っている冠動脈が動脈硬化等によって細くなり、それが血栓などで詰まってしまうことによって、心筋が壊死してしまう疾患です。ポンプ機能の低下あるいは併存症である不整脈などによって死にいたることもある重篤な疾患です。

急性期の治療後は再梗塞を予防するために、血栓の形成抑制効果のあるアスピリンあるいは硫酸クロピドグレルを処方することがガイドライン等で推奨されています。

指標 13：急性心筋梗塞患者における退院時アスピリンあるいは硫酸クロピドグレル処方率

医療機関コード	医療機関名	母数	分子	割合
060113656	済生会山形済生病院	10		60.0%
080110205	水戸済生会総合病院	34	31	91.2%
096210115	済生会宇都宮病院	87	81	93.1%
100110144	済生会前橋病院	28	24	85.7%
110201350	済生会川口総合病院	16	15	93.8%
111101922	済生会栗橋病院	49	46	93.9%
120210971	済生会習志野病院	26	26	100.0%
130314757	済生会中央病院	33	25	75.8%
140105122	済生会横浜市東部病院	53	50	94.3%
143103439	済生会横浜市南部病院	46	43	93.5%
150120734	済生会新潟第二病院	10		80.0%
160115667	済生会富山病院	15	13	86.7%
180118909	福井県済生会病院	13	13	100.0%
224160042	静岡済生会総合病院	19	19	100.0%
240705053	済生会松阪総合病院	15	15	100.0%
251200194	済生会滋賀県病院	17	17	100.0%
271607149	済生会千里病院	54	39	72.2%
272701586	済生会泉尾病院	15	14	93.3%
274205628	済生会茨木病院	11		81.8%
279600070	済生会中津病院	13	12	92.3%
279600120	済生会野江病院	27	27	100.0%
279600153	済生会吹田病院	18	18	100.0%
350116357	済生会下関総合病院	32	26	81.3%
350310141	済生会山口総合病院	37	34	91.9%
401119189	済生会福岡総合病院	44	41	93.2%
401719020	済生会二日市病院	23	23	100.0%
438211911	済生会熊本病院	70	56	80.0%
	合計	815	731	89.7%

\* 分母が 10 症例未満の病院数：8